

あらゆる枠を超えて社会課題に挑む原体験

留職プログラム

 CROSS FIELDS

Inspiration

高い志を持って働く
リーダーとの出会い

Challenge

新興国のタフな環境での
課題解決への挑戦

Purpose

現地に価値を提供し
仲間と分かち合う感動

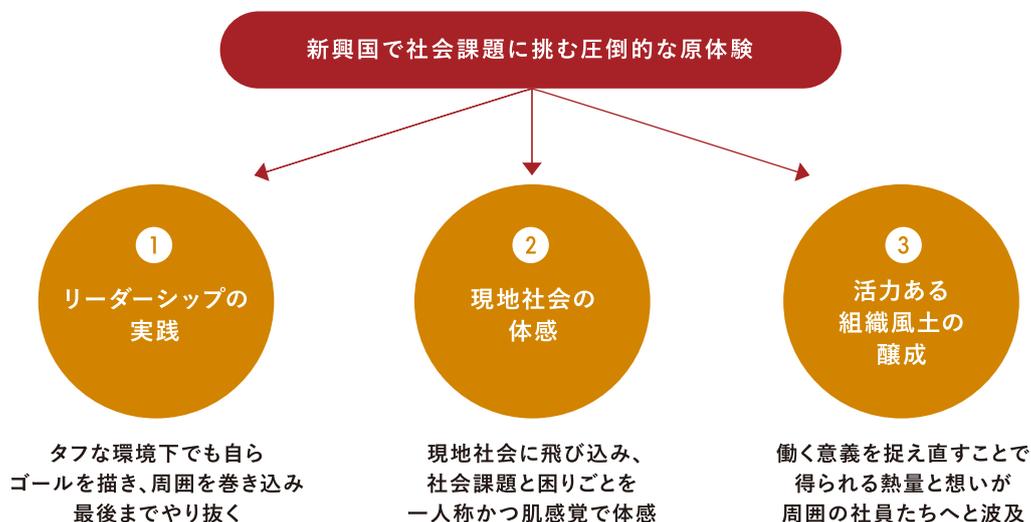


留職プログラムとは

企業から新興国のNPOや社会的企業に飛び込み、
本業のスキルと経験を活かして、
社会課題の解決に挑むプログラムです。



導入の3つの効果



プログラムの流れ

| | | | |
|------|------------------------------|--|--|
| 企画設計 | 実施検討 概要設計 | <ul style="list-style-type: none"> • プログラム概要の設計 (目的、派遣期間、派遣者の選定方法など) |  |
| | 派遣者決定 | <ul style="list-style-type: none"> • 派遣者の募集・選抜 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 候補者との面談  |
| | 派遣先団体と 業務内容のマッチング 約3ヶ月 | <ul style="list-style-type: none"> • 派遣者のスキル・ニーズの聞き取り • 派遣先団体・業務内容の調整と決定 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 派遣先団体との受入調整・視察  |
| 実施運営 | 事前研修 約2ヶ月 | <ul style="list-style-type: none"> • 現地課題理解と目標設定 • 安全管理に関する研修 • 派遣先団体とのビデオ会議 • 出発報告会 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 計4回の研修(各2~3時間)  |
| | 現地業務 約3ヶ月(応相談) | <ul style="list-style-type: none"> • 業務内容の完遂に向けた現地業務 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業務開始時の現地同行(1週間) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #f9a825; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">アセスメント</div> <div style="background-color: #f9a825; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">1on1セッション</div> </div>  |
| | 事後研修 約2ヶ月 | <ul style="list-style-type: none"> • 活動の振り返りと本業への落とし込み • 帰国報告会 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 計3回の研修(各2~3時間) ➢ 他社との合同研修(1回) <div style="background-color: #f9a825; border-radius: 10px; padding: 2px 5px; margin-top: 5px;">アセスメント</div>  |
| | 終了後 | フォローアップ | <ul style="list-style-type: none"> • 継続的な学びと振り返り • プログラムの効果検証 |

プログラムの3つの特徴

1 マッチング



派遣者ごとにオーダーメイドで留職先を選定。10ヶ国、1,000近い現地団体とのネットワークと約80団体への派遣実績。

2 伴走



国際協力とビジネスの世界でキャリアを積んだプロジェクトマネージャーがプログラムを通じて一貫して派遣者に伴走。

3 コミュニティ



留職という強い原体験を共有し、組織の枠を超えて互いに刺激を与えあう留職経験者(アラムナイ)のコミュニティの存在。

クロスフィールズのサポート

現地業務中の定期的な面談で学びと成長を促進

1on1セッション

週1回程度の頻度でプロジェクトマネージャーと約60分のビデオ会議を実施



活動の進捗状況の確認と翌週の目標設定とともに、事前研修で設定した成長目標ごとの振り返りを実施。

リーダーシップの変化度を活動前後で可視化

アセスメント

リーダーに必要な7つの要件を、具体的な行動基準をもとに定量的に評価



『採用基準』『生産性』の著者である伊賀泰代氏と共同開発したツールを活用

プロジェクトマネージャーが、派遣先団体からのコメントを踏まえて評価。現地業務開始直後と事後研修終了時の2回で変化を測る。

留職経験者(アラムナイ)の活躍

Enterprise Leader

組織リーダー型

周囲の社員を奮い立たせてチームを引っ張るタイプ



医療系機関での遠隔診療の効率化に向けたAndroidアプリ開発

留職先で体感した「エンジニアとして働く喜び」を感じられる職場の実現を目指し、リーダーシップをとってチームを牽引。互いの仕事や業務に対する想いを知り合うため、メンバー同士で業務について語り合う会合を定期的に主催。

自分の枠に囚われていたことに気が付き、できることはやった上で、できないことを素直に言えるようになりました。今後も自分の能力に限界を設けず、同僚達が笑って全力で働ける環境を作りたいです。



株式会社日立製作所
企画営業職
南竹 俊介さま

Global Leader

グローバルリーダー型

グローバルな環境で自ら道を切り拓いていくタイプ



医療系NGOでの医療廃棄物処理のオペレーション改善

帰国後の挑戦

研究職として留職プログラムに参加後、3年間米国に駐在して新規事業立ち上げに参画。現地では自身の専門分野に留まらず、経理・物流・営業管理・新規営業に携わる。帰国後は経営企画室にて活躍中。

留職を通じて、働いて社会に貢献する熱い思いと、それをチームに伝播させる行動力が身につきました。仕事の本質を考え行動できるようになり、現在の仕事で大変活かされています。



テルモ株式会社
企画営業職
高橋 光さま

Innovator

事業創出リーダー型

新たな事業や価値を創造していくイノベータータイプ



社会的企業でのソーラー調理器具の製造コスト削減

帰国後、海外事業立ち上げに社内コンサルタントとして従事。社内外での新規事業提案に繰り返し挑戦し、Game Changer Catapult参画、発酵調理キットサービス「The Ferment」をSXSW2017で展示、リーダーとして商品化に向け取り組む。

留職先に「仕事が社会の役に立っている自信があるか?」と問われ、解くべき課題を考え直しました。社会課題の解決につながる事業を会社に提案し、初心に描いた事業に辿り着くよう奮闘中です。

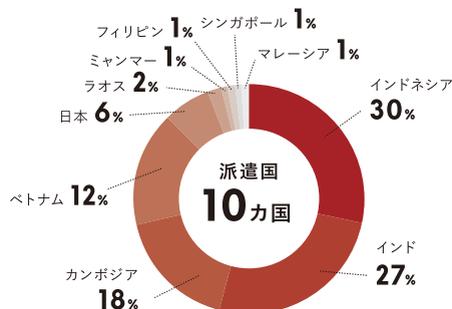
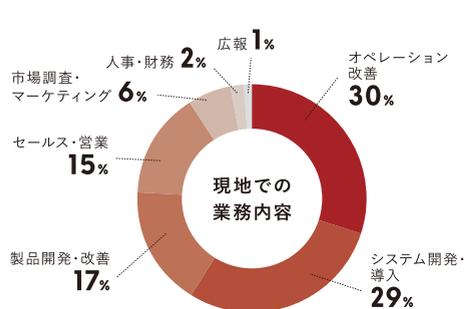
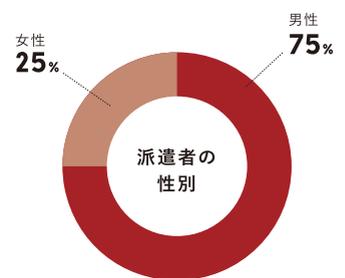
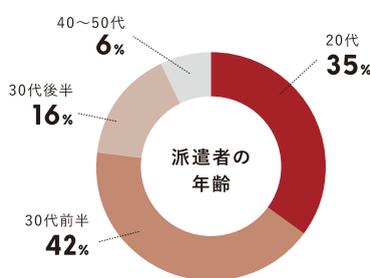
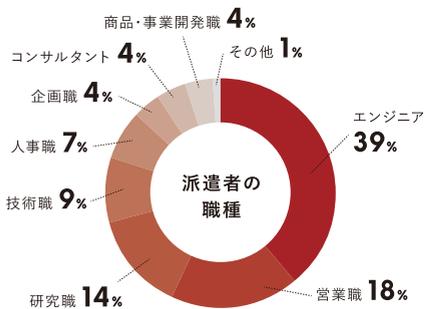
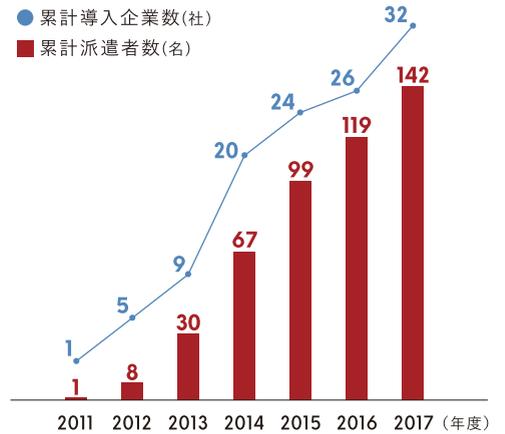


パナソニック株式会社
企画職
山本 尚明さま

主な導入企業



導入企業数と派遣者数



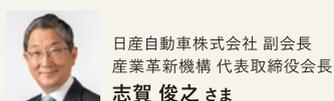
導入企業の業種

| | | |
|-----------|------------|---------|
| 電気機器 5 | 情報・通信 5 | 食品・飲料 4 |
| ヘルスケア 3 | 自動車 3 | 人材・教育 3 |
| 化学 2 | コンサルティング 2 | |
| 広告・メディア 2 | 建設・エネルギー 2 | |
| 金融 1 | | |

導入企業・有識者の声

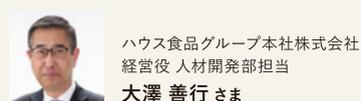
企業の中では決して味わえない素晴らしい経験

知らぬ地の困りごとを自らの知識と技能で解決する。頼る人は自分しかおらず、困っている人を置いて逃げ出すことも出来ない。このプログラムを通して、社会に役立つ事の意義を学び、自分や仲間達だけで成し遂げたい達成感が味わえる。企業の中では決して経験の出来ない素晴らしい経験だ。



留職によって組織を変革する人材の核がつくれる

既存の業務・活動領域・関係性から飛び出した、未知の世界での挑戦。新興国で社会課題と正面から対峙するリーダーたちとの出会い。自らの存在価値を根底から問直す体験が、参加者を大きく成長させます。また、その体験と学びは周囲の関係者にも波及していき、組織そのものを変革する人材の核をつくることができます。



境界を超え、マインドセットを変える最高の仕掛け

クロスフィールズの活動は、企業人材を「革新型」に変える最高の仕掛けだ。いくら座学・企業内OJTで学んでも、人の「マインドセット」が変わらなければ人・組織は動かない。社員のマインドセットを「革新型」に変えるクロスフィールズの活動は、イノベーションが不可欠なこれからの時代に圧倒的な価値がある。



Our Vision
目指す世界

すべての人が「働くこと」を通じて、想い・情熱を実現することのできる世界
企業・行政・NPOがパートナーとなり、次々と社会の課題を解決している世界

Our Mission
果たすべき使命

枠を超えて橋をかけ 挑戦に伴走し 社会の未来を切り拓く

事業の広がり

留職プログラム

Corporate Volunteering Program



社会課題に取り組む新興国のNPOや企業とともに、本業で培ったスキルや経験を活かして課題解決に挑むプログラム。

社会課題体感フィールドスタディ

Social Issue Understanding Field Study



国内外の社会課題の現場を「体感」して自らを内省し、困難な課題に立ち向かうリーダーの活動と志から刺激を受ける、管理職・経営者向けのプログラム。

社会課題解決ワークショップ

Social Business Creating Workshop



社会課題の現場に精通する国内外のNPOのリーダーとともに現地の社会課題を解決する事業アイデアの創出に取り組むアクションラーニング。

ソーシャルセクター支援

Social Enterprise / NGO Support



社会課題解決に取り組むNPOや社会的企業のニーズに合わせ、セクターや国境を超えた協働の促進などを通じた課題解決のサポートの実践。

講演

Talk Session



「リーダーシップ」、「働き方」、「CSV/SDGs」、「起業家精神」、「グローバルマインド」等をテーマとした講演。要望に応じワークショップを付属した設計も可能。

組織概要



法人名 特定非営利活動法人クロスフィールズ
創業日 2011年5月3日
所在地 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-8-3 町原ビル4F



共同創業者
代表理事
小沼 大地

一橋大学大学院社会学研究科修士。青年海外協力隊(シリア)に参加後、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経てクロスフィールズを創業。国際協力NGOセンター(JANIC)の理事、新公益連盟の理事も務める。



共同創業者
副代表
松島 由佳

東京大学経済学部卒業。在学中カンボジアの児童買春問題に取り組むNGOに関わった後、ポスト・コンサルティング・グループを経てクロスフィールズを創業。世界経済フォーラム(ダボス会議)のGlobal Shaperに2015年より選出。



事業統括
マネージャー
中山 慎太郎

一橋大学法学部卒業。国際協力銀行(JBIC)、国際協力機構(JICA)、三菱商事株式会社にて特に中南米のインフラ開発に従事後、2014年にクロスフィールズに参画。留職事業の統括を経て、現在は経営管理全般の統括と、法人営業マネージャーを兼任。

メディア掲載



[TV] テレビ東京「ガイアの夜明け」2016年9月



[新聞] 朝日新聞 1面
2016年9月



[雑誌] ハーバードビジネスレビュー
2016年11月



[雑誌] プレジデント
2017年12月



[書籍] 『働く意義の見つけ方』
ダイヤモンド社 2016年9月

その他

[TV] テレビ東京「ワールド・ビジネス・サテライト」、NHK World「Rising」、NHK総合「おはよう日本」、BSジャパン「Nikkei Plus10」

[新聞・雑誌] 日本経済新聞、リクルートワークス機関紙「Works」、Forbes Japan、国際開発ジャーナル、Japan Times、日経ビジネス、クーリエ・ジャポン

[WEB] 東洋経済オンライン、ダイヤモンドオンライン、日経BPオンライン など

主な講演・登壇実績

- CSVイノベーションフォーラム「NPOとの連携がもたらす日本企業の新たな戦い方」(小沼)
- 早稲田大学ビジネススクール・トップ起業家との対話「情熱を体現するリーダーシップのあり方」(小沼)
- TEDxUTokyo「Continue to challenge without fear」(松島)
- 日本の人事部HRカンファレンス「タフな環境で飛躍する人材の見極め方」(中山)
- その他、人事・経営企画・CSRなどからの依頼での講演多数

お問い合わせ

Tel: 03-6417-4804 Mail: info@crossfields.jp

クロスフィールズ

検索

http://crossfields.jp



枠を超える、未来を創る

CROSS FIELDS